

放課後等デイサービス自己評価表

ハッピー仙台教室

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	1	小学生以上が運動をする程のスペースは確保できない為、机上や床で取り組める活動を提案している。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	3	日によって職員が少ない日もある為、その際は利用人数を調整している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	4	必要最低限の物のみを廊下に置き、通路を確保している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	2	多くの職員が関わられるよう支援は担当制ではなく、全職員で行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	1	保護者様から頂いたご意見は全員で共有し、改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	1	ホームページにて公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	5	現在は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9		社内研修を全社で実施している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9		保護者様のご意向を聞き取りさせていただき、当事業所で出来ることをすり合わせし個別支援計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9		自社独自のアセスメントツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	1	職員間で相談しながら支援内容を工夫している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	1	時折実験や、工作等を行い楽しみながら活動に取り組めるよう工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	3	長期休みには季節にあったイベントを実施している。
	14	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	6	3	新入社員に関してガイドラインの内容を理解できていない場合もある為、職員全員が共通理解できるようにしていく。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1	基本的に集団支援を実施しているが、障害度合いやお子様の様子に合わせて個別支援を行っている。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1	お子様の様子に合わせて、集団支援と個別支援を実施している。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	1	終礼時に1日を振り返りとして情報共有をおこなっている。
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9		打ち合わせが出来ない場面があった為、今後共有もれが起こらないよう記録に残すことを徹底していく。
19	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	3	中間評価を行い、必要に応じて個別支援計画書の見直しを行っている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9		担当者会議において、そのお子様の支援に携わっているものが参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	2	送迎を実施していない為、連絡を取り合う機会は少ないが、保護者様のニーズによっては学校と連携し支援している。

放課後等デイサービス自己評価表

ハッピー仙台教室

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8	1	必要に応じて、情報共有を行っていく。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	1	障害福祉サービス事業所へ移行したケースがない。
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	2	アーチルの研修に参加し、時折ご助言を頂いている。
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	7	社会情勢を考慮して実施していないが、何らかの形で交流できるように考えていく。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	7	参加する機会がなかった為、今後参加できるようにスケジュールを確認していく。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	1	支援後のフィードバック時に保護者様と共通理解を深めている。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	4	ペアトレの充実を図る為、研修等に参加し職員全体の知識を向上させていく。
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9		見学、契約時に行っている。
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	1	支援後のフィードバック時に行っている。またその場でお答えできないことに関しては次回以降お答えするようにしている。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	5	今年度は1度実施している。今後も保護者様のニーズが多くある為実施していきたい。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9		保護者様からの相談や申入れがあった際は児童発達支援管理責任者、又は教室長が迅速かつ丁寧に対応に当たっている。
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	3	ホームページのブログや、インスタグラムにて行事の様子等を公開している。
	34	個人情報に十分注意しているか	9		十分に注意している。
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	1	お子様の思いや考え方を代弁し保護者様に伝えている。
非常時等の対応	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	3	社会情勢を考慮して実施していないが、少しずつ交流の場を設けていきたい。
	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	1	保護者の方がいつでも見られるよう、モニタールームにマニュアルをファイリングして設置している。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	1	年2回実施している。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9		研修を実施している。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	1	今まで身体拘束の必要なお子様がいらっしゃらなかった為記載していなかったが、必要な場合、事前に説明し了承を得て、個別支援計画書に記載していく。
41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	2	アレルギーや服薬について、書面にて記載して頂き、イベント等でお菓子を配布する際はアレルギーに留意し対応している。	
42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9		社内で作成したものを共有している。	